

目次

序……………川岸村長 金原惠重郎

序……………川岸村議會議長 中島寛夫

第七編 交通史……………

第一章 通路と通行……………

一、延喜の古道 二、鎌倉街道 三、木曾殿越 四、中山道 五、三州街道 六、下諏訪・伊那線

七、一里塚 八、毅留番所 九、旅行 一〇、伊能忠敬測量のため入村

第二章 伝馬と助郷……………

第三章 中馬……………

第四章 天龍川通船……………

一、角倉了以の通船計画 二、高島藩御用部屋日記より 三、文政七年の通船計画 四、明治以降

の通船

第五章 明治以降の運輸通信……………

一、陸運会社 二、鉄道 三、車馬 四、郵便局 五、電話

第八編 蚕糸業史……………九七

まへがき 生糸の村、川岸村……………九

第一章 川岸村における蚕糸業の前過程……………一〇三

一、本村蚕糸業の発生その一 二、本村蚕糸業の発生その二 三、村の糸師について

第二章 川岸村における蚕糸業の発展期……………一三〇

一、発展の歴史 二、明治初年の農村の状態 三、器械製糸の創出と資本の存在 四、器械製糸の

発達 五、明治初年の養蚕業

第三章 川岸村における蚕糸業の全盛期……………一四八

一、発展の歴史 二、製糸業の近代化 三、工場経営について 四、製糸労働者

第四章 川岸村における蚕糸業の凋落期……………一五三

一、発展の歴史 二、昭和恐慌 三、戦争と製糸業 四、戦後経済の復興過程

補論 片倉組及び村内製糸工場について……………一五六

一、片倉製糸紡績株式会社 二、村内主要工場

第九編 産業 (蚕糸業を除く)……………一四九

一、農業……………一四九

第一章 概 説 二四九

第二章 作物 二五三

一、稻 二、麦 三、雜穀 四、甘藷 五、馬鈴薯 六、だいこん 七、ながいも 八、にんじん
九、果樹

第三章 畜 産 二六六

一、牛 二、馬 三、豚 四、山羊 五、綿羊 六、鶏 七、兎 八、あひる

第四章 機関・団体 二七三

一、農業委員会 二、農業改良事務所 三、農業協同組合 四、農業共済組合 五、養蚕農業協同組合 六、農家組合 七、その他の団体

追 補 終戦後の土木工事・明治初期の農事通信 二七八

二、工業・漁業・附天龍川 二八五

第一章 工 業 二八五

一、金属機械工業 二、蛹処理業 三、食品製造業 四、印刷製本業 五、製靴業

○川岸商業会 三〇四

○金融機関 三〇六

第二章 漁 業 三〇八

附 天龍川……………三六

- 一、駒沢築 二、天龍川の屋塚 三、天龍川のしじみ取り 四、天龍川の釣り 五、養 鯉
 一、天龍川の氾濫、二、天龍釜口の改修 三、天龍川の水車と架橋 四、天龍川の水車撤廃と浚渫
 五、川岸ダム（ローリング・ダム）六、天龍製糸用水路 七、昭和二十五年六月の洪水

第十編 現代社会……………三五

第一章 村自治……………三五

- 一、明治初年の旧村時代 二、五ヶ村合併より市町村制実施までの川岸村
 三、市町村制実施後の川岸村
 四、村財政 五、市町村合併と川岸村 六、村名誉職並に議員

第二章 教 育……………三九

- 一、川岸村教育委員会 二、小学校 三、新制川岸中学校並に岡谷東高等学校川岸分校 四、川岸
 実業補習学校・青年学校その他 五、川岸村公民館 六、川岸村保育所
 ○真徳寮 ○川岸小学校同窓会 ○私立片倉尋常小学校 ○PTA（父母と先生の会）

第三章 兵 役……………四三

- 一、徴兵令発布当時の状況 二、各戦役の關係者

第四章 各種団体並に諸機関……………四九

- 一、消防 二、警察 三、青年団並に壮年会 四、日本赤十字社・愛国婦人会
五、衛生 六、水道

第五章 神社・仏閣……………四八〇

- 一、神社 二、仏閣

第六章 観光……………四九五

- 一、天竜の螢 二、広畑遺跡と高尾山 三、鶴峰公園のつつじ 四、美ヶ原・塩尻峠県立公園

附Ⅰ 川岸村の土地・戸口・職業統計……………五〇二

Ⅱ 川岸村の気候概況と気候統計……………五〇八

川岸村史年表……………五三六

後記